

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 2 月 9 日(2022.2.9)

【公開番号】特開 2020-124359(P2020-124359A)

【公開日】令和 2 年 8 月 20 日(2020.8.20)

【年通号数】公開・登録公報 2020-033

【出願番号】特願 2019-18430(P2019-18430)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 2 A

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 3 2 B

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 2 月 1 日(2022.2.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

20

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者に有利な特定遊技を実行するか否かに関する乱数抽選の結果を表示可能な第 1 表示手段と、

遊技実績に基づく複数の特定情報を表示可能な第 2 表示手段とを備えた

遊技機において、

前記第 2 表示手段による実行時間を計時するための第 1 情報を記憶する第 1 情報記憶領域と、前記第 2 表示手段による表示内容の切替周期を計時するための第 2 情報を記憶する第 2 情報記憶領域とを備え、

30

電断復帰を含む電源投入後に、第 1 のタイミングで前記第 1 情報記憶領域の前記第 1 情報を初期設定する第 1 処理と、前記第 1 のタイミングとは異なる第 2 のタイミングで前記第 2 情報記憶領域の前記第 2 情報を初期設定する第 2 処理とを実行し、

前記乱数抽選の結果を表示する際に前記第 1 表示手段に第 1 コモンデータ信号を出力し、

前記特定情報を表示する際に前記第 2 表示手段に第 2 コモンデータ信号を出力し、

前記第 1 コモンデータ信号と前記第 2 コモンデータ信号とを、共通のコモンカウンタを用いて共通の出力回路から出力する

ことを特徴とする遊技機。

40

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

遊技機の不正改造を防止するためには、従来のように不正改造の手段を物理的に遮断する方法の他、性能に関する特定情報を遊技実績に基づいて取得し、所定の特定情報表示手段に表示することにより、不正改造が行われたか否かを容易に判断できるようにすることが考えられる。

50

本発明は上記事情に鑑みてなされたものであり、特定情報表示手段への特定情報の表示をより好適に行うことが可能な遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、遊技者に有利な特定遊技を実行するか否かに関する乱数抽選の結果を表示可能な第1表示手段と、遊技実績に基づく複数の特定情報を表示可能な第2表示手段とを備えた遊技機において、前記第2表示手段による実行時間を計時するための第1情報を記憶する第1情報記憶領域と、前記第2表示手段による表示内容の切替周期を計時するための第2情報を記憶する第2情報記憶領域とを備え、電断復帰を含む電源投入後に、第1のタイミングで前記第1情報記憶領域の前記第1情報を初期設定する第1処理と、前記第1のタイミングとは異なる第2のタイミングで前記第2情報記憶領域の前記第2情報を初期設定する第2処理とを実行し、前記乱数抽選の結果を表示する際に前記第1表示手段に第1コモンデータ信号を出力し、前記特定情報を表示する際に前記第2表示手段に第2コモンデータ信号を出力し、前記第1コモンデータ信号と前記第2コモンデータ信号とを、共通のコモンカウンタを用いて共通の出力回路から出力するものである。

10

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明によれば、特定情報表示手段への特定情報の表示をより好適に行うことが可能である。

20

30

40

50